

## ブロック塀等の簡易チェックポイント

項 目	確 認
1. 塀の高さは適切ですか？	
①ブロック造は2.2m以下、石等の組積造は1.2m以下である	○・×
②上部にフェンスや瓦等の笠木が設置されていない	○・×
③擁壁や石積みの上に後から、塀が設置されていない	○・×
2. ブロックの厚さや構造は適切ですか？	
①ブロック造は厚さ10cm以上、高さ2m超の場合は15cm以上 組積造は壁頂までの距離の10分の1以上	○・×
②ブロック面のずれや飛び出し等がなく、平坦に施工されている	○・×
③透かしブロックを多用していない	○・×
④ブロック面に、木戸等の大きな開口がない	○・×
3. 適切な構造の控壁はありますか？	
①ブロック造は3.4m以内ごと（塀の高さが1.2m以下の場合は不要） 組積造は4m以内ごとに控壁が設置されている	○・×
②控壁の突出長さが適切である ブロック造は壁の高さの1/5以上、組積造は壁の厚さの1.5倍以上	○・×
③その他適切な構造である ・控壁の下にコンクリートの基礎があり、地盤に固定されている ・基礎及び塀壁面と一体となるよう、適切に接合されている	○・×
4. 基礎はありますか？	
①塀壁面及び控壁の下に、壁厚以上の厚さのコンクリート基礎がある	○・×
②内側、外側とも、地盤に適切に埋め込まれ、固定されている。	○・×
5. 劣化や傾きがなく、健全ですか？	
①塀の各部に著しい劣化がない	○・×
②ブロックや目地、基礎にひびが入っていない	○・×
③塀や基礎の傾き、波打ち、はらみ出し、ブロックのずれが生じていない	○・×
④目地等から水の流れた跡がない	○・×
⑤目地や端部等から鉄筋が露出していない	○・×
⑥目地の浮きや目地モルタルの欠損がない	○・×
⑦目地、塀壁面と基礎・控壁等が分離していない	○・×
6. その他のチェックポイント	
①塀周辺の地盤に土の陥没、流出による基礎の露出、地盤沈下等がない	○・×

**※ 上記項目に1つでも「×」が付いたら、建築士等の専門家に相談するなど、塀の安全性を確認するようにしましょう！  
特に下線の項目は重要なものです！**

この表は、一般の方が塀の安全性について、目で見てわかる項目を中心にまとめたものです。

高松市建築指導課 TEL 839-2488